

平成29年度 事業計画

【法人運営】

1 理事会

開催日	議題
5月20日	平成28年度事業報告と決算 5月度報告
6月10日	理事長及び業務執行理事の選出
9月24日	9月度報告
翌1月25日	1月度報告
翌3月25日	平成30年度事業計画と予算

2 評議員会

開催日	議題
6月3日	平成28年度事業報告と決算 次期理事の選出

3 監事監査 5月12日（金曜日・PM～）予定

4 その他

- ① 社会福祉の充実が勧められる中、利用者の地域移行のステップアップを目指して行く。
- ② 新規事業の模索（就労移行支援事業）

【生活介護事業運営】

1 運営方針

一人一人の人格を尊重し、楽しみながらも充実した日中活動を提供する。

- (1) 利用者の個々の能力に合った創作活動（クラブ活動）を行い、できないところをそっと支える個人のニーズを尊重した細やかな支援の提供を図る。
- (2) 利用者が生き生き過ごすことができ、押しつけではなく意欲をもって参加できる日中活動の場を提供するための生活の環境整備を図る。
- (3) 地域に対するメッセージの強化（感謝祭、天白区民祭り、地域の子供会の体験教室等の案内）

2 重点事項

- (1) 一人一人が、社会のルールやマナーを覚え、地域でより良い生活が送れるような支援を行なって行く。
- (2) 作業内容及び取引先の見直しを行い、工賃の確保に努める。また、生産活動での合理化と創作活動（クラブ活動）の充実を図る。
- (3) 利用者及び家族に対し、施設利用の役割と有効性を伝えていき、利用率の向上を図る。

3 開所状況

- (1) 開所日・・・原則月曜日～金曜日（祝日・夏期休業日・年末年始休業日を除く）
※月1回程度、土曜日もしくは日曜日に希望者に対して行事を行う。
- (2) 開所時間・・・9：00～16：00

4 利用者受け入れ状況 定員・・・30名（契約者・・・33名）

5 日課

8:45-9:00	9:30	10:35	12:00	13:00	14:10	15:30-45	16:00	17:15						
ス タ ン ツ フ 出 勤	メ ン バ ー 出 勤	体 操 テ ィ ン グ	作 業	休 憩	作 業	昼 食 憩	作 業	休 憩	創 作 活 動	片 付 け	ミ ニ バ ー テ ィ ン グ	メ ン バ ー 退 勤	記 録 付 け	ス タ ツ フ 退 勤

※作 業・・・下請けを中心とした内容（輸入雑貨検品・ガスコンロ取手組立等）
縫製・藍染め・手織り・切り絵・クッキー作りを中心とした内容

※創作活動・・・農耕クラブ・芸術クラブ・書き方クラブ・調理クラブ等

6 行事予定（別紙参照）

7 工賃

- ・プロジェクトチームを立ち上げ、工賃規定の見直しを行なう。（前期）
- ・評価表の項目を見直し、再評価を行なう。（後期試行期間）

8 職員体制

2班制を導入し、個対個の支援からチームで複数に目を向け支援することで、視野を広げていけるようにする。各立場での役割を全うできるように考え、その上で主任二人をパイプ役として

連携強化を図る。また、各職員の利用者担当にグループホームの利用者を受け持つことで、グループホームとの連携も図っていく。

- (1) 管理者 : 1名 (常勤・サービス管理責任者兼務)
- (2) 主任生活支援員 : 2名 (常勤)
- (3) 生活支援員 : 6名 (常勤4名 非常勤2名 (利用者:支援員=4:1))
- (4) 看護師 : 1名 (非常勤)
- (5) 事務職員 : 1名 (常勤・相談支援事業の事務職員を兼ねる)

※医師・・・嘱託医として桃山診療所(内科)医師

9 職員研修予定

- (1) スタッフ会議 (月/1回)
- (2) ケース会議 (月/1回)
- (3) 施設内研修 (年/4回)
- (4) 名障連主催による研修
- (5) 県社会福祉協議会主催による研修
- (6) 県福祉協会主催による研修等

10 実習生 (養護学校高等部) 受け入れ予定日

- (1) 6月・11月 (養護学校校外実習期間)
- (2) 7月～8月 (夏休み)、12月 (冬休み)、3月 (春休み)

11 ボランティア受け入れ予定

- (1) 常時
- (2) ふれあい一泊の旅・バス旅行・てふてふ感謝祭 (9月・11月)

12 地域交流実施予定・・・感謝祭、徳林寺花祭り、天白区区民祭り、桃山いきいきフェスティバル

13 生産活動

- (1) 自主製品作り (技術・品質の向上に重点を置く。)
 - ・藍染め製品・縫製製品 (刺繍雑巾を含めて)・手織り製品・クッキー作り
 - ・その他 (編み物製品・クラフト製品)
- (2) 下請 (効率アップ)
 - ・輸入雑貨検品・リサイクル衣料選別・段ボール緩衝材作成・ガス給湯器バネセット等
- (3) 販売
 - ・天白区役所 (毎週水曜日 10時～12時)
 - ・ドリームショップてふてふ大根店販売 (毎週木曜日)
 - ・マガレットマルシェ移動販売車

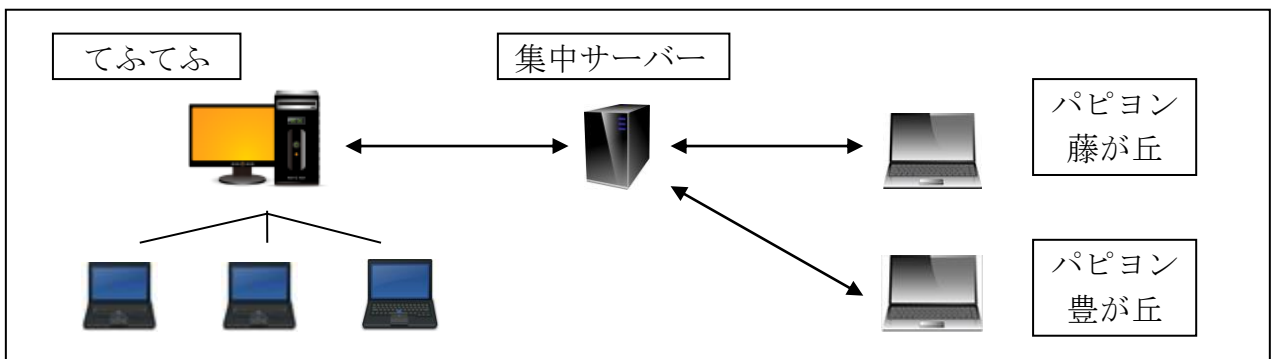
※委託販売先の開拓をしていく。

【職場環境の向上】

1 データ保存用集中サーバーの導入

- ・各書類をデータ化し、サーバーに保存する事で保存書類の軽量化及び保存場所の省スペース化を図る。
- ・各パソコンのデータを軽くする事で、ハードディスクの寿命を延ばす。
- ・グループホームとのネットワークを構築する事で、各データの共有を可能とし、支援の連携も図りやすくなる。
- ・職員の残業時間の削減と個人情報の漏洩防止に努める。

ネットワーク化イメージ図



平成 29 年度 行事予定

月	法人本部	てふてふ(生活介護)	パピヨン(共同生活援助)
4		徳林寺花祭り：1日～9日 スポーツ大会練習会：23日 個別面談	豊ヶ丘（9人）
5	理事会 機関紙発送	障害者スポーツ大会：7日 事業所間フットベース交流会 避難消火訓練	ゴールデンウィーク帰省
6	評議員会 理事会	健康診断 業者清掃	
7			
8		ふれあい一泊の旅 夏季休業：14日・15日 避難訓練	ふれあい一泊の旅 夏の帰省
9	理事会	支援計画モニタリング バス旅行	行楽
10	機関紙発送	個別面談 天白区区民祭り：22日	
11		感謝祭：4日 業者清掃 福祉と映画のつどい：11日	
12		仕事納め忘年会：16日 年末年始休業：29日～3日	年末年始帰省
1	理事会	初詣：4日 新年会：20日	
2	機関紙発送	避難訓練	
3	理事会	支援計画モニタリング 梅まつり：5日～16日	行楽
月毎/ 週毎		第1木曜 スタッフ会議 第2木曜 家族会会議 第3土曜 ケース会議 第4金曜 メンバー・スタッフ会議 毎週水曜 天白区役所販売 毎週木曜 てふてふ大根店 毎月第3土曜日 行事の日 ※外部研修	誕生会（随時） 第3金曜 スタッフ会議 第4火曜 家族会議

【共同生活援助運営】

1 運営方針

てふてふホームの利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。

特に2つの事業所の交流を新規に計画しながらもそれぞれ独自の利用者への対応を考慮していく。

2 重点事項

- ・新しく事業を行う豊が丘の利用者への対応、環境整備などの体制を整えつつ、2つの居住場所を一括した支援体制を整えていく。

3 事業所の名称及び所在地

『グループホームパピヨン藤が丘』名古屋市名東区藤が丘33番地の1

『グループホームパピヨン豊が丘』名古屋市名東区豊が丘2708番地

4 開所状況…365日

5 職員の職種、員数

- (1) 管理者 1名（常勤：サービス管理責任者兼務）
- (2) サービス管理責任者 1名（常勤：管理者兼務）
- (3) 世話人 6名（常勤：生活支援員兼務 非常勤：5名）
- (4) 生活支援員 3名（常勤：世話人兼務2名、非常勤：1名世話人兼務）

6 利用者受け入れ状況 …16床

7 実費（一人当たり月額試算）

- (1) 食材料費 月額20,000円
- (2) 家賃 月額27,000円（修繕積立2,000円を含む）※豊が丘家賃月額35,000円
（内修繕積立2,000円）
- (3) 光熱水費 月額10,000円
- (4) 日用品費 月額4,000円
- (5) 金銭管理（年金管理3,000円 通帳管理2,000円）
- (6) その他日常生活においても通常必要となるもの

8 夜間体制

緊急夜間体制・・・管理者及びサービス管理責任者を窓口とする。

夜勤・宿直体制・・・必要時に行う。

9 職員研修予定

- (1) スタッフ会議（月/1回）
- (2) ケース会議（月/2回）
- (3) 名障連主催による研修
- (4) 県社会福祉協議会主催による研修
- (5) 県福祉協会主催による研修等

10 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

【短期入所運営】

1 運営方針

利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。

2 重点事項

- ・安全を十分に配慮し、短期の生活を過ごしていただく。
- ・短期入所を体験することで、自立を深める場となるように心がける。

3 事業所の名称及び所在地

てふてふショートホーム:名古屋市名東区藤が丘33番地の1 『ショートスティパピヨン藤が丘』

4 開所状況…365日

5 職員の職種、員数

- | | |
|----------|------------------------|
| (1) 管理者 | 1名（常勤：共同生活援助の管理者兼務） |
| (2) 世話人 | 7名（常勤2名、非常勤職員5名：調理員兼務） |
| (3) 調理委員 | 6名（常勤1名、非常勤5名：世話人兼務） |

6 利用者受け入れ状況 …1床

7 実費（一日当たり試算）

- (1) 水光熱費・・・500円（1泊）
 - (2) 食事・・・・朝300円・昼食400円・夕食600円
- ※例 夕食一泊一朝食→1,400円

8 夜間体制

緊急夜間体制・・・管理者を窓口とする。
夜勤・宿直体制・・・必要時に行う。

9 職員研修予定

- (1) スタッフ会議（月/1回）
- (2) ケース会議（月/2回）
- (3) 名障連主催による研修
- (4) 県社会福祉協議会主催による研修
- (5) 県福祉協会主催による研修等

10 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

【相談支援事業の経営】

1 運営方針

利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して相談支援の事業を行う。

2 重点事項

緊急時における対応に迅速に相談にのっていく事に努める。

3 開所状況

(1) 開所日・・・原則月曜日～金曜日（国民の祝日、12月29日から1月3日までを除く）

(2) 開所時間・・・9：00～16：00

※管理者と相談支援専門員が不在時の連絡は、併設の事業所からの連絡が行われる体制をとる。
上記の営業日、営業時間のほか、電話等により緊急時の連絡が可能な体制をとる。

4 職員の職種、員数

(1) 管理者 1名（常勤：相談員兼務）

(2) 相談支援専門員 1名（常勤：管理者兼務）

(3) 事務員 1名（常勤：生活介護の事務員兼務）

5 主たる対象の障害の種類は、特定しないものとする。

6 通常の事業の実施地域は、名古屋市全域の区域とする。

7 相談支援の内容

(1) 基本相談支援

(2) 障害者及び障害児の支援事業者等の情報提供

(3) 訪問によるアセスメント

(4) サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成及び変更

(5) サービス担当者会議の開催等による専門的な意見の聴取

(6) 訪問によるモニタリング

(7) 地域定着相談支援

(8) 地域移行相談支援

8 職員研修予定

(1) 天白区自立支援協議会による研修

(2) 名障連主催による研修

(3) 県社会福祉協議会主催による研修

(4) 県福祉協会主催による研修等

9 利用件数…昨年度を踏まえ、65件ほどと考える。